

募集テーマ 困りごとや解決したい課題	下水道施設における太陽電池（シリコン又はペロブスカイト）の導入
めざす姿 どういう状態をめざしているか	・下水道施設に、初期投資をかけずに効果的な太陽電池を導入する。 ・シリコン太陽電池、ペロブスカイト太陽電池どちらを導入するべきか、導入時期、効果、スキームを勘案して判断ができる。 ・ペロブスカイト太陽電池を選択する場合、国の導入支援事業に参画し、ペロブスカイト太陽電池が実用化した後に、即導入可能な下地を作る。
これまでの取組 何を実施してきたか	【検討内容】 ２０２３年度（令和５年度）に藤沢市下水道施設太陽電池設置検討委託を実施し、シリコン太陽電池導入にあたっての基礎検討を実施 【検討項目】 ①下水道施設に設置可能な場所の選定 ②設置費用の概算金額算出 ③B／Cの算出 ④CO₂の概算削減量算出 【検討結果】 ①設置可能場所における発電量が少なく、P P A事業に不向き（※P P A事業者が希望する発電量を満たさない） ②官設官営の場合は、一定の初期投資が必要になり、下水道経営を圧迫する恐れがある。 ③B／Cは１以上 ④CO₂削減量は１％ 【今後】 今後、詳細設計のフェーズに入る予定だが、２０２４年度（令和６年度）に経済産業省より、次世代太陽電池戦略が発出されペロブスカイト太陽電池の方向性が示され、ペロブスカイト太陽電池の導入により課題解決の可能性が考えられることから、動向を注視し、事業実施を見送っている状況
民間事業者等のノウハウが活用できると考えている点	・シリコン太陽電池、ペロブスカイト太陽電池どちらを導入するべきか、導入時期、効果、スキームについての検討 ・ペロブスカイトの実証実験、その結果を踏まえた、藤沢市への早期導入への検討
テーマに関する民間事業者等との取組の有無	行っていない
募集対象	・解決等に向けて一緒に取り組む提案と実施者を探したい ・解決等に向けた取組のアイデアが欲しい
希望する提案のイメージ	【STEP 1】 ・下水道施設におけるペロブスカイト太陽電池の有効性を検討したい事業者を募集しフィールドを提供する。 ⇒フィールド提供することで、藤沢市の下水道施設におけるペロブスカイト太陽電池の可能性を把握し、シリコン太陽電池、ペロブスカイト太陽電池どちらを導入するべきか、導入時期、効果、スキームを勘案して判断ができる。 【STEP 2】 ・STEP 1の結果を受けて、国のペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業に応募したい事業者を募集し、藤沢市と協定等を締結し、実証実験を行う。 ⇒実証実験で設置し、早期導入をめざす
募集期間	２０２７年（令和９年）３月末日まで
実施希望時期	２０２８年（令和１０年）３月末日まで
提案の選定方法（選定の有無）	☐特に選定をしない（提案内容が妥当であれば採用数を絞り込まない） ☒審査等による選定等を実施（提案内容等を審査・選定し採用数を絞り込む） ☐提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施 ☐その他（下記のとおり）
藤沢市の提供できるリソース	下水道施設のフィールド

予算措置の可能性	無
テーマに関する参考情報等	
担当課	下水道施設課